

# 橋桁補強工の作業手順書

制定・改定日 2022.7.21

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用車両・機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>機材、道具類落下防止の確認</li> <li>KY活動の実施</li> <li>作業計画書の必要な工種はこれを確認すること</li> </ul>
支承仮受台設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁点検車・ユニックレールの設置。</li> <li>支承周りに堆積した土砂等を清掃、除去する。</li> <li>設置位置の墨出しを行う。</li> <li>不陸整正をし支承仮受台設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による作業。</li> <li>安全帯・フルハーネスの確実な着用。</li> <li>土砂の落下に十分注意をする。</li> <li>手足元の確認。</li> <li>機材、道具類落下防止の確認</li> </ul>
桁補強材設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>支承仮受台の上部の位置を確認し設置位置を決める。</li> <li>スチフナーと強力サポートの位置が同一になるように設置する。</li> <li>緩みがないように橋桁に固定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による作業。</li> <li>安全帯・フルハーネスの確実な着用。</li> <li>機材、道具類落下防止の確認</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>はつきりかす、研磨かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> <li>トラックなど運搬時の飛散防止措置をすること</li> </ul>

作業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
							ヘルメット	
							反射(自発光)チョッキ	
							警笛	
							防塵マスク	
							保護メガネ	
							安全帯	
							フルハーネス	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 安全帯・フルハーネスを必ず使用する。
- 作業に合った保護具を使用する。
- 有資格者による、機械作業を行う。
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 一人作業の禁止**